



YMCA松尾台幼稚園の同窓会に大勢の人が集まりました。(2016年11月)

What a Wonderful World

～子どもたちとともにこれからも～

「子どもたちをわたしのところに來させなさい。
妨げてはならない。神の国はこのような者たちのものである。」
(マルコによる福音書10章14節)



日本基督教団喜連自由教会牧師
学校法人大阪YMCA学院
評議員・チャプレン
おかやま まきと
岡山 牧人

「牧師先生、おはよう!」、園の行事に連なると、子どもたちのそんな元気な挨拶と最高の笑顔に出会います。しかしながら、その子どもをよく見てみると、「確か…入園式の時、目に涙をためてお母さんからひと時も離れなかったあの子やなあ」とその光景をついこの間のように思い出します。子どもの成長には、いつも驚かされてばかりです。私は、昨年の4月からYMCA松尾台・しろがねこども園のチャプレンとしてYMCAに関わっています。チャプレンとして関わる中で、この笑顔の素晴らしさにいつも心を打たれます。

入園式の時は不安と涙でいっぱいの子もたちが、多くの仲間と一緒に生活する中で、共に支え合うことや共に喜ぶことを体験します。また、一人ひとりを大切な存在として丁寧に見守る保育者との触れ合いを通してお互いのつながりを体得し、やがて、卒園するときには、健やかな「からだ」の中に、互いに支え合う豊かな「こころ」を湛えた子どもたちとなります。

それは、こんな出来事の中に現れています。子どもたちが毎年一日一日、少しずつ練習に練習を重ねて演じるクリスマスページェントの中での一コマです。本番の雰囲気にも飲まれてしまったのか、自分のセリフを忘れてしまう子ども。

保護者も保育者も「あっ!」と思い、固唾を飲んで見守る中、周りの子どもたちは、その子が必ずセリフを思い出すと信じきって、「間」を恐れずにじっと待つ。それに呼応するかのように、セリフを思い出し、その場面が完成されるというもの。あるいは、とうとうセリフを思い出せずにいる場合、必ず、近くの仲間の子らが耳元でそのセリフを囁くのです。待つのも助け舟を出すのも、セリフを忘れた子を責める様子は一切ありません。「セリフを忘れる」という難局は一人のそれではなく、みんなで乗り越える課題になっているのです。ページェント(劇)ですから、一人ひとりに役があり、個々のセリフがあります。それぞれは、自分のセリフを覚えることだけに集中し、自らの役を演じることだけに専念するのではなく、練習の時からそれぞれの役割やセリフ割の分担を意識しつつみんなで演じるのです。

「個々の役割や分担を大切に、みんなで課題を共有する」とは、なんと素敵なことでしょう。このようなところにこそ、子どもから始まり全ての人の未来に通じる希望の創造があると思いますし、これこそが誰にとっても真の幸せの居場所だと思います。子どもたちとともに、YMCAがこれからもこのような働きを担われることを期待しています。

■大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人のびとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭・地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人のびとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

発行: 末岡祥弘 編集: 大阪YMCA広報室
〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-5-6
TEL 06-6441-0894 FAX 06-6445-0297
大阪YMCAのホームページでその他の情報をご覧ください。
URL: <http://www.wosakaymca.or.jp/>



No.697

2017
3月号

東南アジア教育支援プロジェクト in ミャンマー

YMCA松尾台こども園 スタッフ **野田 寿加子**

2016年度、YMCA松尾台幼稚園が創立40年、しろがね幼稚園が創立25年を迎えました。周年事業の一環として同窓会を開催し、新たな取り組みとしてチャレンジする東南アジアにおける教育支援プログラムに卒園児の参加を呼びかけることになりました。

YMCA卒園児を中心とした青年と共に行動(アクション)し、地球、平和な世界、幸せについて考え、学ぶ機会となることを願って、今年度は、大阪YMCAが継続してスタディツアーを行なっているミャンマーでの教育支援プログラムを企画しました。そして、2011年から民主化への道を歩み始めたミャンマーの現在の姿を視察し、本当に必要としている支援、協力内容を協議することで、今後のプロジェクトの展開を考えていくことも目的としました。

今回、卒園児の大学生1名とスタッフ3名でマンダレーYMCAに行き、マンダレーの中でも貧困地域にあるタダイシ村での合同クリスマス会に参加しました。近隣から多くの村人が集まり、子どもたちやリー

ダーの出し物を見て楽しんでいました。日本から来た私たちのことも温かく迎え入れてくださり、プレスクールで子どもたちとの交流もさせていただきました。

マンダレーの街や村には、たくさんのごみが捨てられており、舗装されていない道路や生活するにあたって必要なものが整っていないところも多く見られました。その反面、多くの人がスマートフォンを持ち、バイクや日本で使われなくなった車に乗っている人も多く、複雑な社会課題も感じました。

参加者もミャンマーの学生との交流を通して、日本の豊かさや恵まれた環境で学んでいることに改めて気づいたり、意欲的に社会や語学の勉強をし、少しでも暮らしを良くしようと志す若いミャンマーの学生たちに刺激を受けたりと、気づきと学びの体験となったようでした。

今後も日本とミャンマーの若い世代が関わりを深め共に学びながら、響きあい、課題解決に向けて支え合えるようなプログラムを展開していきたいと思えます。

今回のプロジェクト実施にあたり、街頭募金や絵本提供、現地との調整等、様々な方にサポートいただき、心から感謝申し上げます。



YMCAしろがね幼稚園お餅つき大会に参加して

おかわら ただかず
白金プラチナ倶楽部 会長 **岡村 忠和**

白金プラチナ倶楽部は、1991年に設立されて今年で26年目を迎えた地域の活動グループです。普段は、地域の安全パトロールやごみ清掃活動、高齢者対象の健康体操教室などを実施しています。そして同じ地域にあるYMCAしろがね幼稚園とは、数年前から地域子育て支援を通して交流しています。

晴れ渡る空、しかし西風が強く、少し肌寒い日となった1月13日、年少・年中・年長と3回に分けて、恒例の「お餅つき大会」のお手伝い

をしました。まず、年少さんが少し寒そうにお友だちと手をつないでやって来て、「お祈りしま〜す!」と一斉に元気に声をかけてくれました。お餅つきが始まると、先生方と一緒に「ヨイショ! ヨイショ!」という大きなか

け声のもと、我々も力いっぱい餅つきができました。同じようにして年中、年長さんとの餅つきも無事終わりました。

また、お餅つき大会の始めから終わりまで、先生方がテキパキと下準備をこなしておられる姿に感心。我々は、「良いとこ取り?」

秋のパンピカーニバルやこのような餅つきで、かわいい孫のような子どもたちと接することが、我々に若返る刺激をもたらしているのでは、と感じられると同時に、異世代交流を今後も継続していくことで地域の子どもを共に育むことができると思っています。



熊本の「今」を知る

～熊本地震被災地支援報告～

大阪YMCAウエルネス事業部 **あまつつみ たかし**
ユーススポーツ事業 スタッフ **雨堤 崇志**

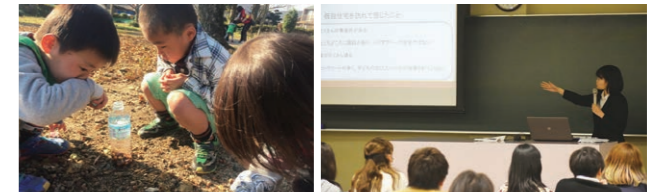
2016年12月17日・18日、大阪YMCAのユースボランティアリーダー3名とスタッフ2名で熊本へ被災地支援に行きました。

今回は、熊本YMCAが運営する木山仮設住宅えあいセンターで、外遊びを通じて子どもたちの心のケア活動を行いました。ある子どもから、「地震の時、何しとった?」などと話しかけられ、今でも「地震」が子どもたちの心の中に大きく残っていると感じました。

今回の活動を通して、半年以上が経って記憶が薄れつつある熊本の震災を憶え、継続的な支援が必要であること、また仮設住宅の人々と関わる中で、日々の生活へのありがたみも改めて感じました。私たちはこれからも熊本や東日本のことを思い、「与えられる毎日への感謝」を忘れずに活動していきたいと思えます。



第1回熊本YMCAインターナショナル・チャリティランに参加しました。



仮設住宅に住む子どもたちの心のケア活動を行いました。 1月20日に活動支援報告会を行いました。



大阪YMCAの熊本地震被災地支援活動では、赤い羽根共同募金からの助成を受けました。感謝とご報告を申し上げます。

引き続き、熊本地震支援募金へのご寄付をよろしくお願いいたします!

皆様の募金は、以下の活動に用います

1. 被災コミュニティの復興支援

- ・地域住民の生活支援

2. 被災者の復興支援

- ・熊本YMCAの活動を通して持続的な市民の復興を支援
- ・市民の心身の健康を支える活動
- ・被災者の心のケア活動
- ・復興を担うリーダーシップの育成

【募金期間】2017年4月30日(日)まで

☆お近くのYMCA または三菱東京UFJ銀行 大阪為替集中支店 普通預金 No.0230070

<名義>公益財団法人大阪YMCA 加:ザイ)材カワ)イム)エ
*通信欄に「クマモトフックウ」と明記してください。通信欄がない場合は、振込名義人の後に「クマモトフックウ」と入力してください。
(熊本地震支援募金は、寄付金控除の対象となります。税額控除用の領収書が必要な方は、後日、お渡ししますので、氏名・住所・TELをお知らせください。)

公益財団法人 大阪YMCA 本部事務局
TEL:06-6441-0894 FAX:06-6445-0297
E-mail: info@osakaymca.org



土佐堀YMCAでは、復興支援のための街頭募金を毎月1回行っています。(写真は国際専門学校日本語学科の留学生)

仲間と共に表コミで成人式を!

大阪YMCA国際専門学校 **きみはら えりこ**
表現・コミュニケーション学科 スタッフ **公原 恵理子**

「先生、ちょっと大人になったでしょ?」と、少し照れくさそうに卒業生が声をかけてくれました。

不登校やいじめなど様々な理由で、「地域の成人式に行くことができない」という保護者の声を聞き、3年前の表現・コミュニケーション学科(以下、表コミ)10周年を機に、成人の日に新成人を祝う成人祝福式を始めました。

今年は19名の参加があり、中には地元の成人式の後に駆けつけてくれた卒業生も。振袖や袴姿の卒業生もいて、大変華やかな式となりました。新成人代表としてスピーチをした一人は、「表コミ入学前は一人だと思っていた。大学生の今、周りに合わせられるようになった」と話してくれました。表コミで学び仲間ができたことが今に繋がっていることを、本当に嬉しく感じました。「先生、お久しぶりです。お元気ですか?」と声をかけてくれる立派な姿に成長を感じ、「先生、何歳になったん?」と変わらぬ愛嬌で場を和ませてくれる人柄にホッと癒され安心しました。

成人祝福式後の卒業生が設立した同窓会には80名以上の参加があり、思い出話や現在の話で盛り上がりました。卒業してからも二十歳の節目と一緒に祝えること、「また会いたい」と思える仲間や大人と表コミで出会えたことが、これからの力となることを願います。ある卒業生が、「表コミはぬるま湯だ、でもそこで充分甘えることができたので社会の辛さに耐えられる力がついた」と言っていたことを思い出します。進学先や社会で困難にぶつかった時、ほっとできる、帰れる場所で在り続けたいと思えます。



「噛む」を意識する

YMCAあわぎ保育園 スタッフ つじもと わかな
辻本 若菜

私たちは日々の生活で、どれくらい噛むことを意識しているでしょうか。

近年では軟らかい食品が好まれ、「食品の軟食化」が進んだことで、「噛まない」または「噛めない」傾向があり、しっかりと噛む力を養うことは大切だと実感します。

おせんべいなどの固い食品とゼリーなどの軟らかい食品を食べ比べると、口の動きが全く違うことに気がきます。固い食品を口に入れた時、舌先で左右どちらかの奥歯の上のせて噛むことを繰り返し、食物をまとめて飲み込みます。一方、軟らかい食品では左右に行かず、舌で押しつぶして飲み込みます。噛む機能は3歳頃に完成すると言われており、ペースト状の離乳食から形のあるものへ、少しずつ噛む練習をして噛めるようになっていきます。食べるだけでなく口周りの筋肉を動かすことで、言葉や発音、表情の豊かさ等、様々な発達を促します。

YMCAあわぎ保育園では、厨房の職員も子どもの食事の様子を把握して、担任と相談しながら離乳食を進めていきます。子どもたちに噛む習慣が付き、おいしく食べることができるように、発育に応じた大きさや固さを考慮して給食を提供しています。

噛み噛み
レシピ

もちもちパン

〈約7個分〉

- 【材料】 ホットケーキミックス 75g
白玉粉 50g
牛乳 110g
チーズ 50g

【作り方】 1. ボウルにホットケーキミックス、白玉粉、チーズを入れて、少しずつ牛乳を加えながら混ぜます。

2. 生地を7等分してから丸めて、180℃のオーブンで10～15分焼きます。さつまいもやトマトなどの野菜を混ぜ込んでも、おいしくいただけます。



※食品アレルギーのある方は、材料選定にお気をつけください。

大阪YMCA早天祈祷会

■第287回 日 時…2017年3月17日(金)7:30～8:30

証 し…大塚 由美さん
おおつか よしみ
(大阪YMCA中高齢者事業資格研修センター 事業長)

場 所…大阪YMCA会館 10階 チャペル

問合せ 大阪YMCA 本部事務局 総務

【TEL】06-6441-0894 【E-mail】info@osakaymca.org

世界のYMCAと共に学ぶ ～第34回アジア・太平洋YMCA同盟 スタッフ研修報告～

2016年11月7日から12月3日まで、第34回アジア・太平洋YMCA同盟スタッフ研修・アドバンスコースが開催され、大阪YMCAからDominic Pangrazioさんが参加しました。

アジア・太平洋地域のYMCAからの参加者と共に、キリスト教やYMCAの運動、平和運動などについて知識を高めると共に、自分のYMCAをどのように改善するかということを考えたり、将来に向けての具体的なプランを作成する課題に取り組みました。



後列左から3人目がDominic Pangrazioさん

ご寄付に感謝申し上げます

大阪なかのしまワイズメンズクラブ様から、創立20周年を記念して、10万円の献金を頂戴しました。大阪YMCAインターナショナルスクールの新幼稚園校舎建築及び教育振興のために、大切に用いさせていただきます。ご支援に感謝し、ご報告させていただきます。

■会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2017年1月度報告・敬称略

【新規会員】

飯沼 菜
稲葉 匠
乾 涼香
大川 寧々
岡本 麻友
沖野 千咲都
斉藤 健太
笹川 真由
竹内 均
橋本 拓朗
真鍋 佑介
水野 雄太
山根 さゆり
山本 佳奈
吉見 優里
渡辺 貴子

【継続会員】

新井 陽子
池上 正
池田 衣里
池田 俊一郎
石木 茉莉
石谷 瞳
市田 恒夫
伊藤 俊彦
福付 洸太
猪瀬 正雄

鷗崎 帆波
大西 晴日
岡田 加奈子
岡田 麻里
岡村 千陰
岡本 康
奥 美結希
掛谷 太郎
加治 沙奈悦
蒲田 泰宏
神谷 尚孝
神田 緑
工藤 義正
合田 彩夏
小島 宏樹
越山 奈緒
小林 愛実
齊藤 光弘
阪口 千穂
坂本 一真
佐川 隆二
佐古田 修
志田 育夫
柴田 一希
清水 真一
清水 汎
神社 洋一
管 紀子
杉前 英里

鈴木 良洋
澄川 菊代
清木 育
高瀬 里菜
田中 裕士
土居 香菜子
藤 孝子
富田 泰子
中尾 美里彩
中川 侑紀
中筋 祐喜
長野 碧
中村 和麻理
中村 実樹
中村 友紀
西井 正道
野方 大輔
野崎 唯
萩原 義明
橋本 和子
橋本 圭子
長谷部 一義
濱野 菜奈
速見 莉奈
福田 成美
藤崎 優希
古家 淳
ベンジャミン ミツダ
堀 菜々子

本間 みつ子
前田 康司
牧瀬 由佳
松下 徹
松原 満
松村 京香
松山 隆義
三好 由希子
森 公輔
森本 榮三
森本 瑞希
矢田 翔梧
柳村 有花
矢野 優輔
山口 悦生
山地 和家子
山本 遼
結城 美沙
湯元 芳恵
渡辺 文香

【継続賛助会員】

紀伊産業株式会社
株式会社創元社
朝陽電気株式会社
株式会社阪南ビジネスマン